学校番号	122

令和２年度　家庭科

教科	家　庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	子どもの発達と保育　新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達過程や保育などに関する知識と技術を習得しましょう。
・この授業は、子どもの発達と保育について学ぶ保育専門コースの基礎・基本の科目です。
・乳幼児期の発育や発達を中心とした学習内容、保育体験実習に向けての子どもとの関わり方、絵本や折り紙などの児童文化財の活用、子どもの生活についての全般をさまざまな実験や実習を通して、確認していきます。積極的に取組みましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見い出し、思考を深め、適切に判断し、自身の考えを表現する能力を身に付けている。	乳幼児に子どもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート 発表 自己評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 レポート 発表 定期考査 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察記録表 レポート 発表 定期考査 実技テスト 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 観察記録表 レポート 発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の特性	○子どもの発達と保育の学び方 ＊ペア・トーク ＊絵本読み聞かせ ○発達と乳幼児期の意義 ○発達と保育環境 ・子どもの発達と環境 ＊DVD視聴 「赤ちゃんの不思議」 ○児童観と発達観 ・こんにちの児童観・発達観 ・児童憲章、児童の権利に関する条約 ○保育技術検定 ・言語表現技術4級 ＊読み聞かせトレーニング	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:人間の発達に関して興味・関心をもち、特に乳幼児期の発達についての概略を学ぼうとしている。 b:現代における発達観を踏まえて、自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察できる。 c:子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。 d:乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。	授業観察 ワークシート 定期考査
	子どもの発達の過程	○子どもの発育 ・胎児の発育・発達 ・乳幼児の身体的特徴 ＊新生児模型 ・乳幼児の生理的特徴 ・発育の評価 ○子どもの精神発達 ・運動機能と感覚機能の発達 ・知的発達 ・言葉の発達 ・情緒の発達 ○人間関係の発達 ・愛着関係の形成 アタッチメントの形成 ・人間関係の広がり ・子どもの人格形成	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a:胎児の発達の特徴について関心をもっている。 b:胎児の発育・発達には、母体を中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、考えを深めている。 c:胎児の発達の観点から、親のとるべき行動を推察し，母性・父性の関わり方に生かすことができる。 d:胎児の身体的・生理的な発達の特徴について理解している。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査

2 学 期	子どもの保育	○保育の意義と重要性 ・保育とは ・人間形成と保育 ○家庭保育と集団保育 ・家庭保育 ・集団保育 ○保育の方法 ・保育者の役割とは ・指導のポイント ＊保育体験実習 「実習保育」にて実施 ○保育技術検定 ・造形表現技術4級 ＊折り紙	○	○ ○	○	○ ○ ○	a:子どもにとって、自分は保育者であることを理解し、自らの果たすべき役割について考えようとしている。 b:集団保育・家庭保育、それぞれの場面での子どもとの適切なかかわり方について具体的に考え、まとめることができる。 c:保育体験実習を通して、子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析し、それらをまとめることができる。 d:保育の意義や重要性について、理解している。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
	子どもの生活	○生活と健康 ・生活と健康 ・栄養と食事 ・食習慣の形成 ＊離乳食実習 ・衣生活と育児用品 ＊おむつを科学する	○	○	○	○	a:子どもの食生活について、さまざまな課題や問題点を考えようとしている。 b:乳汁栄養から離乳食、幼児食へと進む発育・発達に応じた食事のあり方についてまとめ、発表できる。 c:乳幼児に適した被服の素材・型・サイズ等について、情報を収集し整理し、適切な衣生活の計画ができる。 d:乳幼児期の食生活の特徴を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査

2 学 期	子どもの生活	○子どもの遊び ・生活と遊び ＊伝承遊び(あやとり、駒) ・遊びの援助 ○生活習慣の形成 ・生活習慣の意義 ・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣	○	○ ○	○	○ ○	a:子どもの遊びや生活習慣について関心をもち、学習に取組もうとしている。 b:子どもの発育・発達を促すための望ましい生活の諸条件について思考し、考えをまとめている。 c:子どもの遊びや生活習慣の形成に必要な養護の技能を身につけている。 d:遊び、生活習慣の形成の意義と重要性を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
		○健康管理と事故防止 ・日常の健康管理 ・病気の看病と予防 ・事故の防止と応急処置	○	○	○	○	a:乳幼児の健康を守るための保育者の役割について考えようとしている。 b:健康管理と事故防止について考えを深めている。 c:基本的な看護と事故防止方法についての技術が身についている。 d:子どもが健康で安全に生活を送るために必要な知識を身につけている。	授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査
3 学 期	子どもの福祉	○子どもの福祉 ・児童福祉の理念 ・児童福祉に関する法律 ・児童福祉のための機関・施設 ○子育て支援 ・社会的支援の必要性 ・児童虐待とその予防 ・これからの子育て支援 ・子育て支援の課題 ○保育技術検定 ・家庭看護技術4級 ＊新生児模型	○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:子育て支援に関わる法律・制度・機関等について関心をもっている。子どもの発達の特徴について、意欲的に理解しようとしている。 b:子どもを健やかに育てていくためには、具体的な施策が必要であることがわかり、今後の施策の方向性などを判断することができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察している。	授業観察 ワークシート レポート ポスター 発表 定期考査

3学期	子どもの福祉						c:現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について、情報を収集することができる。発達の観点から、特有の行動パターンや感情表現などを推察して子どもの行動を理解し、子どもとの関わり方に生かすことができる。 d:児童福祉の考え方やそれに関わる制度の知識を身に付けている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。